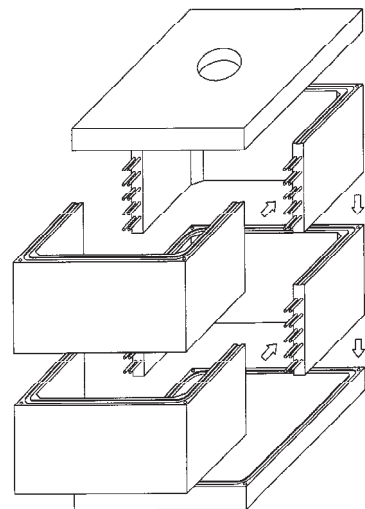


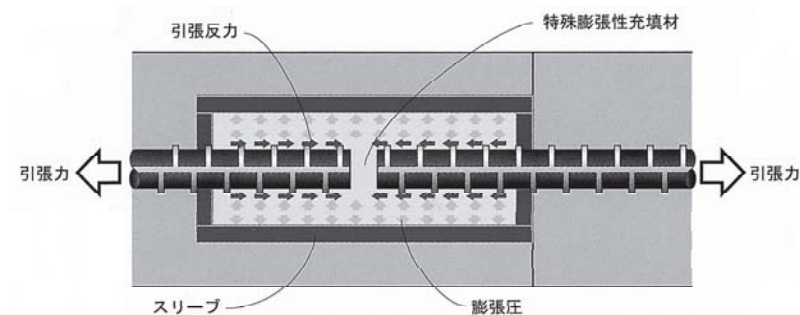
# YPJ工法

## ■ 特長・ポイント

- 土木学会「鉄筋継手指針」規定の「A級継手」を満足した剛結合ジョイントのため、充分な性能を有し、構造物の分割・結合を自由に設計することが出来る。
- 形状が□型・U型・L型等多岐にわたる構造物を分割して構築することが出来、その製作部材が最少の種類（スラブとL型）で可能なために部材の製作コストが著しく低減される。
- 安価なジョイントスリーブに充填材を注入する簡単な作業で全結合部に剛性を持たせられるので施工が早くコストがかからない。
- 大型構造物を分割するために、運送不可能なものを可能にし、プレキャスト設計の幅を広げることが出来る。現場打ち構築物と比較して経済性がUP、工期を短縮しトータルコストで有利となる。
- 工場製品で高品質な製品の提供が可能
- 現場打ちに比べ型組、配筋などの作業がなく製品据付け後に復旧出来るため大幅な工期短縮が可能
- 土木学会「鉄筋継手指針」規定の「A級継手」を満足した剛結合ジョイントのため、十分な性能を有し、構造物の分割・結合の幅が広がり現場に応じたサイズのボックスの製作が可能です。



## ● 結合原理



鉄筋継手は鋼管スリーブ内にあり、注入された膨張材で覆われている。膨張材の効果により、巨大な膨張力が鉄筋・スリーブの全面に均等に作用して、継手は完全な剛結合状態となる。

## ● 結合方法

